

# 第 43 回ダム現地見学会 開催報告

現地見学小委員会 事務局

第 43 回ダム現地見学会は、一般社団法人日本大ダム会議とダム工学会との共催で、平成 29 年 10 月 12 日（木）～13 日（金）に開催しましたので報告いたします。

## 1. 概 要

今回の見学会では、現場従事者の声を直接聞くことで施工・ダム管理の両面から学習することを目的とし、現在建設中の平瀬ダム（山口県）と平成 3 年に完成した弥栄ダム（中国地方整備局）の 2 ダムを見学しました。

平瀬ダムでは現在コンクリート打設最盛期にある現場状況を見学させていただきました。質疑応答では、コンクリート打設における品質確保の方法や施工上の留意点や苦勞されている点などを説明いただきました。また、弥栄ダムでは堤内の観測設備や、管理所内の操作施設、資料館などを見学させていただき、年間 10 回を超える洪水調節の際のご苦勞や課題なのについても説明いただきました。

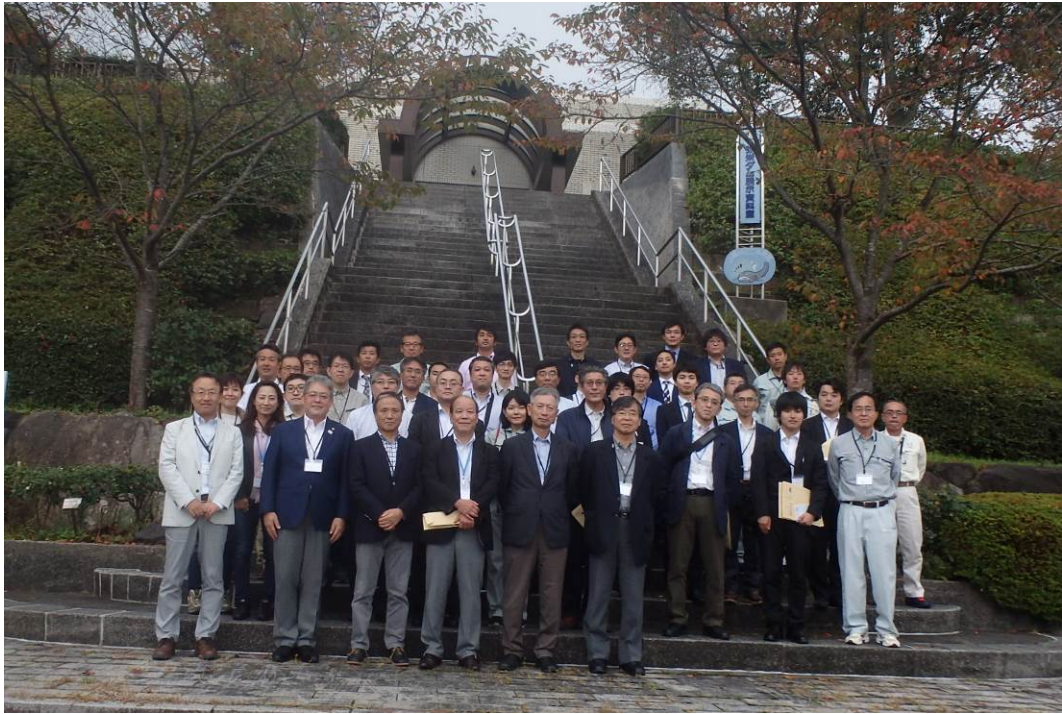
いずれの見学場所でも、実際に従事されている方々の生の声を聞くことができ、参加者とともに活発な議論を行うことができたと考えます。

また、今回の見学会団長は、坂本忠彦元国際大ダム会議副総裁・日本大ダム会議会長にお引き受けいただき、「日本大ダム会議の歴史」についてご講演いただきました。

本見学会では、ダムの設計や施工を専門とする若手からベテランまで幅広い層の方々にご参加いただき、参加者から現在建設中のダム現場施工およびダム管理の両面から知識を深める意味でも有意義な見学会だったと思います。

なお、見学会当日は、岩国錦帯橋空港が一時閉鎖され、到着便が大幅に遅れるというハプニングが発生しましたが、なんとか予定どおり全行程をこなすことができました。

周防大島での宿泊は、例年の山間地の宿でなく海辺のホテルでしたが、山地での仕事にかかわることが多い参加者からは非常に好評でした。



弥栄ダム資料館前での集合写真



工事中の平瀬ダムをバックに集合写真

## 2. 参加者

坂本団長以下、45名の参加を頂きました（小委員会事務局幹事を含む）。参加者の内訳は、電力会社3名、コンサルタント・メーカー24名、ゼネコン13名となっています。

### 3. 見学場所

#### 弥栄ダム

所在地 左岸:広島県大竹市小方町小方、 右岸:山口県岩国市小瀬字二又  
目的 FNWIP、集水面積 301 km<sup>2</sup>、有効貯水容量 106,000 千 m<sup>3</sup>  
型式 G、 H=120m、L=540m、V=1,550,000 m<sup>3</sup>  
管理者 中国地方整備局  
施工者 前田建設、奥村組、日本国土開発

#### 平瀬ダム

所在地 山口県岩国市錦町広瀬字長尾  
目的 FNWP、集水面積 336.2 km<sup>2</sup>、有効貯水容量 27,500 千 m<sup>3</sup>  
型式 G、 H=73m、L=300m、V=340,000 m<sup>3</sup>  
事業者 山口県  
施工者 清水建設、五洋建設、井森工業、ナルキ

### 4. 行程 :

《10月12日》

10:30 岩国錦帯橋空港 集合  
11:00 JR 新岩国駅 集合 (移動途中、昼食)  
13:10 弥栄ダム 現場見学  
15:00 弥栄ダム 出発  
17:00 宿泊ホテル 到着  
(宿泊先) サンシャインサザンセット、懇親会

《10月2日》

8:30~10:00 講演 「日本大ダム会議の歴史」  
元日本大ダム会議会長 坂本忠彦氏  
10:00 宿泊地 出発  
12:00 平瀬ダム着 現場見学  
14:50 平瀬ダム発  
16:00 JR 新岩国駅 着  
16:30 岩国錦帯橋空港 着 解散

### 5. 謝辞

今回の見学会を通じて、中国地方整備局 弥栄ダム管理事務所、山口県錦川総合開発事務所、清水建設・五洋建設・井森工業・ナルキ特定建設工事共同企業体の皆様には、ご多忙の中、多大なご協力を賜りました。ここに厚く御礼申し上げます。